

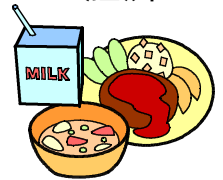
# 東京労連女性センター

2011年3月



〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 TEL5395-3171 Fax5395-3240

## TPPへの参加はなぜ問題なのか - どうなる私たちの暮らしと経済 単産・地域泊り込み学習・交流会



2月19日(土) 20日(日)に秩父のナチュラルファームシティー農園ホテルで単産・地域泊り込み学習・交流会を開催し、9単産、4地域で40名が参加しました。

学習会は、横浜国立大学の萩原伸次郎教授を講師に「TPP(環太平洋戦略的連携協定)への参加はなぜ問題なのか - どうなる私たちの暮らしと経済」をテーマにお話しをうかがいました。



「TPPとは、すべての品目の関税を撤廃するという自由化レベルの極めて高い貿易協定である。業務サービス、通信、建設・エンジニアリング、流通、教育、環境、金融、保険、観光・旅行、娯楽・文化・スポーツ、運輸の11分野などのサービス貿易も含まれている。こうしたサービスは、人が移動し、企業が国境を越えなければ提供できないから、必然的に人の移動と資本の移動の自由を含むことになる。規制改革と称して、医療をはじめ、さまざまなサービス部門における規制緩和・競争政策が展開されることになる。海外から安い労働力が移動することによって、日本の労働者の賃金や労働条件が切り下げられるようになる。医療改革と称して、米国の医療資本が入ってきて、保険のきかないマーケットの拡大など、利益追及化がすすみ医療保険システムの破壊につながる。郵政民営化は、まだ道半ばであり、米国金融機関・日本の財界が狙うのは、株式市場を通じての大儲けである。日本の農業の影響も深刻だ。低廉な食料品が外国から大量に入ってくることは目に見えている。これには日本の商社が絡んで大儲けするという側面があることを見逃してはならない。日本農業への壊滅的打撃によって地域経済は崩壊する。食料品の価格低下は名目賃金の切り下げにつながり、日本経済のデフレを助長して、財政危機をいっそう深刻化させてしまう。いま、賃金の上昇、最低賃金の大幅な上昇、下請け単価の上昇など日本の異常な価格下落を阻止することがもっとも重要な政策である。」とTPP阻止の重要性についてお話ししてくださいました。

続いて、2つの分散会で、春闘の取り組み・職場の状況や非正規の組織づくり、都政への要求・要望などを交流しました。

「公務員給与の引き下げ反対、東京都へセクハラ・パワハラ防止指針をつくらせる」「市場化テストという競争入札によって大量の労働者が職を失ったり、低賃金労働者を作り出している」「保育園の待機児問題に取り組んでいる」「年金引下げ、高齢者医療制度改悪反対のために国会要請を行っている」「忙しいなかで母性保護が守られない。DVDで学習をしている」「新人むけに組合活動や権利を知らせる働きかけをしている」「パート、派遣も含めて女性のアンケートを取り組み、改正育児休業法やパート・派遣の正社員



均等待遇の実現のために話し合っている」「仕事がないなかで、公契約条例に力を入れている」「郵政は、大幅赤字のなかで大量の雇い止めを実行しようとしている。非正規の組織化に力を入れている」などきびしい職場実態のなかで、女性の切実な要求の実現にむけて奮闘している発言が相次ぎました。

夜の懇親会は、ビンゴゲームや都教組、自治労連、年金者組合連などの替え歌や踊り、クイズの披露で盛り上がりました。

# なくせ貧困！ 仕事よこせ、守ろう雇用と暮らし、内需主導の景気回復を 国民要求実現2・10中央総行動&女性部菜の花春闘



2月10日、東京都内で全労連・東京地評・新婦人・農民連・全商連・全日本民医連・建設首都圏共闘などが参加する実行委員会主催で、国民的要求実現を掲げて中央総行動が開催され、7000人が終日行動を展開しました。

全労連女性部は、この日を2011年菜の花春闘行動と位置付け、東京駅丸の内北口の早朝宣伝行動(50名参加)から「比例定数削減反対」「民法改正と子ども子育て

新システム反対」の要求で全女性国会議員96人に対し要請しました。

厚生労働省では、「子ども子育て新システム導入反対、公的な保育の拡充で待機児の解消を」「改正育児介護休業法の徹底・改正次世代育成対策推進法に基づく対象企業がすべて行動計画策定を行うよう指導を強化すること」「妊産婦の深夜業を請求の有無にかかわらず禁止すること」「第3次男女共同参画基本計画実施のための厚生労働省としてのとりくみを示すこと」「均等法の実効ある改正に向けてとりくみを強めること」等を要請しました。

日比谷野音決起集会では「子ども子育て新システム反対！公的な保育の拡充で待機児の解消を」の要求を掲げてパフォーマンス。ウサギに扮したパフォーマーが、子ども子育て新システムを斬っていく趣向です。客席の女性部参加者もウサギの耳をつけ、ブブセラで応援しました。

銀座パレードもブブセラ隊がシュプレに合わせて音出し、楽しくパレ春闘中央総行動に引き続き、夕方5時から1時間、資生堂パーラー前にて資生堂/アンフィニ争議宣伝行動を開催しました。



## 春をよぶ女性のつどい

2月22日府中グリーンプラザで「春をよぶ女性のつどい」を開催し、革新都政をつくる会の氏家祥夫さんを招いて「都政転換と新しい福祉都市東京へ」の学習しました。4月10日の知事選に向けて、「3つの転換・4つのゼロ」の話しを参加者一同真剣に聞きました。

転換の内容のそのは貧困と暮らしの不安解消・雇用と仕事の拡大は都政の最大の課題である。大規模開発・大企業優先の経済政策をかえる。憲法否定、都政の私物化をやめさせ、都民が主人公の都政にする。

4つのゼロとは、貧困ゼロ・保育待機児ゼロ・高齢者医療費ゼロ・高校進学できない子どもゼロへ……ということです。石原知事は「何がぜいたくと言えば福祉」と言って都立病院の統廃合までしました。

女性や障害者蔑視の発言、一泊45万円もの豪華海外旅行に怒っている私たちは都政の転換を切に望んでいるのです。都民の求める政策を実現する財力は十分にあります。そのためには革新都政をつくる会が推薦する小池あきらさんをぜひ都知事にと訴えました。氏家さんの話の一言ひとことに「そうです、その通り！」の音が挙がりました。

俳優座の有馬理恵さんは、水上勉作の『釈迦内枢唄』の一場面を独演して聴衆を魅了しました。12年間でこの芝居を444ステージ演じたそうです。輪廻転生・招魂再生など世界観は色々ありますが、人生は短く有限です。数年前にも有馬さんの演技を観る機会があったのですが、当時よりずっと遅しくなられておどろきました。会の終わりに池田さんのリードで楽しく歌いました。男性の参加もあり豊かな催しとなりました。

年金者組合都本部女性の会 島田初代